



「SDGs副専攻」セミナーがスタート！ SDGsのローカライゼーションを推進し 持続可能な社会づくりの担い手を育てる



SDGs副専攻セミナーが
2024年度からスタート

2022年度より、目白大学
新宿キャンパス全学部学生を対
象に「SDGs副専攻」課程が開
設されたのを受けて、2024
年度からは、履修要件を満たし
た3年生を対象に「SDGs副
専攻」セミナーがスタートしま
した。SDGs副専攻では、自
分の「主専攻」以外の分野も幅
広く学びながら、ものごとのつ
ながりや関係性・多様性を認識
することで、私たちが取り巻く
社会や世界を構造的にとらえる
システム思考と問題解決力を養
います。将来ビジネスやコミュニ



(上) 新宿キャンパスのSDGsラッピング (10号館入口)
(下) さいたま岩槻キャンパスのSDGsラッピング
(コミュニティ・プラザKiri入口)

ニティにおいて、リーダーシッ
プとパートナーシップをもつて
活躍できる、持続可能な社会を
構築する担い手・人材を育成す
ることを目指します。SDGs
副専攻は、共通科目として開講
されている科目のほか、さまざ
まな学部・学科からなる学際的
カリキュラムで、SDGsに
ついて体系的・段階的に学ぶこ
とができます。必修科目として
講義2科目とセミナー2科目を
履修、選択科目として3つの科
目群のそれぞれから2科目以上
(合計6科目以上)を履修しま
す。全体で20単位以上の単位取
得が必要です。特にセミナーは
SDGs副専攻希望者だけが履

修するアドバンスト・プログラ
ムです。学生は自分が所属する
学科とは異なる学科の教員のセ
ミナーを履修することが条件で
す。年度末にはセミナー合同の
成果報告会に参加して、活動報
告をすることが義務づけられて
います。すべて修了要件を満た
せば、主専攻の学位記に加えて、
副専攻の修了証が授与されます。
SDGsの達成に向けた
全学的な取り組み

目白大学は現在、8学部16学
科、大学院7研究科、短期大学
部3学科、学生数6128名
(2025年度)を擁する総合
大学です。新宿区にある新宿キ
ャンパス(文系キャンパス)と、
さいたま市岩槻区にあるさいた
ま岩槻キャンパス(保健医療・
看護系キャンパス)で、それぞ
れ特色ある学びを展開していま
す。目白学園の母体である「研
心学園」の創設が1923年
であったことから、2023年に
目白学園は100周年を迎えま
した。

目白大学は2011年4月
に「目白学園環境宣言」を採択

し、以来、学校法人目白学園地
球環境の保全及び低炭素社会へ
の貢献推進委員会を中心とし
て、全学的エコキャンパスづく
りと地球環境問題の解決に向け
た組織的な取り組みを推進して
きました。2019年4月から
はこれを拡大改組して、学校法
人目白学園エコキャンパス及び
SDGsプロジェクト推進委員
会を発足。2020年7月には
「目白学園SDGs取組宣言」
を採択し、SDGsの達成と持
続可能な社会の実現に向けた取
り組みを、全学的に推進するこ
とを宣言しました。

SDGsプロジェクトの主な
取り組みとしては、①新宿キヤ
ンパスとさいたま岩槻キャンパ
スの校舎に「SDGsラッピ
ング」を施工、②本学ホームペ
ージにSDGsサイト「目白
大学・目白大学短期大学部×
SDGs」を開設、③その中で
各学部学科・研究科や全学にお
ける取り組みをSDGsの17
目標に関連付けながら紹介、④
本学の共通科目や専門教育科目
の中から「SDGs関連科目」
を各学部学科の選定に基づきリ
ストアップ、⑤飲料自販機やエ

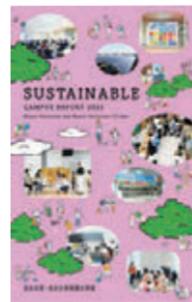
レベーターのデジタルサイネー
ジでのSDGsの取り組み画
像の映写、⑥学生自らが企画し
実施するSDGsプロジェクト
「SDGsアクション」の支
援、⑦こうした取り組み成果を
まとめたリーフレット「サステ
ナブルキャンパスレポート」の
刊行など、キャンパス内の各所
にSDGsのさまざまな仕掛け
が施されています。

さらにエコキャンパスづくり
の取り組みとして、①「森の学
園」の愛称で親しまれているキヤ
ンパス内樹木の定期的な剪定・
施肥による植栽管理、②施設・
設備面では、高効率型空調機や
トップランナー変圧器、太陽光
発電や氷蓄熱システム、LED
照明や人感センサーの導入、中
水道システムや透水性インター
ロッキング舗装など、③環境マ
ネジメント・環境教育の分野で
は、電気使用量・ガス使用量・
CO₂排出量などの環境関連デ
ータの公開、環境ホームページ
「Eco Campus」の管理(これは
SDGsサイトにリンク)など、
エコからサステナブルなキャン
パスづくりへと活動の幅を広げ
ています。

SDGs副専攻 カリキュラム表

科目区分	科目名	科目配置	配当年次	単位数	17ゴール	修了要件	
必修科目	総合科目	持続可能な社会を考える	共通科目	1	2	1~17	2科目4単位 必修
		グローバルな視点で学ぶ社会と人間	共通科目	2	2		
	副専攻ゼミ	SDGs基礎セミナー	共通科目	3	2		2科目4単位 必修
		SDGs特別セミナー	共通科目	3	2		
選択科目	第Ⅰ群	貧困に対する支援、日本と世界の 経済事情、現代の社会福祉、現代 教育入門、生涯学習概論、男女共 同参画社会論など15科目	共通科目 専門科目	1~3	1~2	1~6	2科目4単位 選択必修
	第Ⅱ群	自然科学的な視点から地球環境 問題を考える、コーポレート・ガバ ナンス、未来を拓くイノベーション、 こどもと人権、ダイバーシティ社会 論、都市環境デザインなど15科目	共通科目 専門科目	1~3	2	7~11	2科目4単位 選択必修
	第Ⅲ群	社会生活のデザイン、環境倫理 学、自然地理学概説、法学入門、現 代グローバルイシュー概説、観光 と国際協力など15科目	共通科目 専門科目	1~3	2	12~17	2科目4単位 選択必修

修了要件は、必修科目8単位、選択必修科目12単位以上(第Ⅰ群~第Ⅲ群よりそれぞれ4単位以上)、
合計20単位以上



サステナブルキャンパス
レポート



学園祭でのSDGsアクション発表会

University Information

目白大学・目白大学短期大学部 Mejiro University / Mejiro University College

■新宿キャンパス 〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1
 ■さいたま岩槻キャンパス 〒339-8501 埼玉県さいたま市岩槻区浮谷320
 URL: <https://www.mejiro.ac.jp>



SDGs 副専攻セミナーの活動事例から

子どもの支援を軸としたSDGsの探究

【人間学部子ども学科 西山 里利 教授】

本ゼミのねらいは、国内の子どもを取り巻く諸問題に着目し、自己のテーマに沿ったフィールドワーク、グループワーク等により、子どもの支援を軸としたSDGsについて探究することです。2024年度は、子ども食堂のボランティアおよび運営者との意見交換、インタビュー調査の実施、HPS (Hospital Play Specialist) や保育所広報担当者の講話等を通して、子どもの支援に関する考えを深めました。児童教育学科、地域社会学科、メディア学科所属の学生と子ども学科所属の教員が討議することで、他者を理解してよい部分を吸収すると共に、自身の学科に向き合い、より学科を理解することにつながりました。ゼミ活動により、多様性を受け入れる社会の実現に向けた実践の第一歩となったと実感しています。

エシカル消費の活動事例研究を通して学ぶSDGs

【社会学部社会情報学科 田中 泰恵 教授】

本ゼミのねらいは、エシカル消費の活動事例研究を通して、SDGsの17の目標の関係性や全体像を深く理解することです。2024年度は、SDGsの基本について確認したうえで、「農を通じて well being な社会を実現する」というミッションを掲げている農園でのフィールドワークや「プレオーガニックコットンの理解促進と活用」に取り組んでいる事業者の代表へのヒアリング等を実施しました。さらに、これらの学びを学園祭で展示発表し、また食品ロス削減の一助となるピクルスを作成・販売することで、学生自らの実践にもつなげました。ゼミ活動を通して学生に、今後の社会生活の中で自らが実践者となり、また適切な理解を浸透させるための発信者となることへの自覚と意欲が生まれました。

多面的・総合的な視点からSDGsを考える

【人間学部児童教育学科 石田 好広 教授】

本ゼミのねらいは、SDGsに関して、多面的・総合的に捉え、持続可能な社会について知見を深めることです。2024年度は、川ゴミ拾いをしたり、石坂産業株式会社の協力を得て、フィールドワークに取り組んだりする体験をしました。また、フェアトレードの実態調査をしたり、「気候変動」「パーム油の問題」「食品ロス」などについて、対話を通して考えたりしました。そうすることで、SDGsに関して問題意識を高めるとともに、SDGsを達成することの必要性を実感し、自分事としてとらえられるようになりました。最終的にはSDGsの達成のために、自分の生活のあり方について見直しました。また、SDGs人生ゲームを作成することを通して、本科目で学んだことを多面的・総合的な視点で振り返りました。

成果報告会の開催と成果報告書の発行

2025年1月8日(水)、SDGs副専攻セミナーが合同で「成果報告会」を開催し、ゼミ生全員がその活動成果をスライドにまとめて発表しました。ゼミ活動は期待以上の成果が得られ、異なる学科の学生たちがそれぞれの学科の学びの強みを活かしあって、各ミッションやプロジェクトを遂行した様子を見て取ることができました。さらにこの成果報告会のプレゼン資料に加えて、指導教員がセミナー(春学期:SDGs基礎セミナー、秋学期:SDGs特別セミナー)の授業計画と活動内容についてまとめ、各ゼミが1年間それぞれのテーマのもとに取り組んだ学びの集大成として『目白大学 2024年度 SDGs副専攻成果報告書』を発行しました。



成果報告書の表紙

SDGs副専攻セミナーを履修した学生たちの声

社会科教員を目指す中で、子どもの教育を学べる副専攻ゼミを履修したいと思いました。普段関心を持っていることから理解を深めることができ、他学科の学生と多角的な視点で意見交換をすることができました。



社会学部地域社会学科4年 高橋 航通さん

副専攻ゼミはさまざまな学科の学生が集まり、新たな発見やアイデアが生まれる点が魅力だと思います。子ども食堂の運営に参加した経験を通じて、運営上の課題を考えながら、地域連携への視野を広げることができました。



メディア学部メディア学科4年 岡本 知奈さん

SDGs 副専攻カリキュラムの講義科目から

必修 持続可能な社会を考える(共通科目)

【社会学部地域社会学科 飛田 満 教授(担当者代表)】

地球環境問題(気候変動、自然保護、人口、資源、エネルギー等)と社会・経済問題(貧困、飢餓、教育、労働、ジェンダー等)をめぐる、グローバル課題としての持続可能な社会の実現について、SDGsの視点から社会学部の教員5名によるオムニバス形式の授業で学んでいきます。SDGsとは何か、SDGsのターゲットを読み解くことからはじめ、学際的なフィールドから具体的な事例により持続可能な社会の実現について理解を深めます。



必修 グローバルな視点から学ぶ社会と人間(共通科目)

【人間学部児童教育学科 石田 好広 教授(担当者代表)】

社会的包摂、精神医療保健福祉、文化とメンタルヘルス、乳幼児期や子育て、持続可能な開発のための教育などのグローバルな課題について考える講義です。人間学部と心理学部の教員5名によるオムニバス形式の授業で学んでいきます。日本における社会や人間の抱えるさまざまな課題をグローバルで多様な視点から分析して理解を深めるとともに、課題解決に関する方策について、自分なりの考えをもつことができるようにしていきます。



第I群 現代教育入門(共通科目)

【人間学部児童教育学科 中山 博夫 教授(担当者代表)】

本講義は、児童教育学科の6名の教員が担当し、受講者は主に教職課程を履修していない学生となっています。その授業内容は、学校教育の基本事項、共創型対話を活用した授業、シユタイナー教育、持続可能な開発のための教育、社会の変化と教育、算数・数学教育の国際比較、世界の教科書、インクルーシブ教育など、幅広いものです。すべての学生が現代教育に対する見識を高められることを目指します。



第II群 都市環境デザイン論(専門教育科目)

【社会学部社会情報学科 土屋 依子 准教授】

本講義では、プレイスメイキングなどの都市デザインの考え方とそのプロセスを学び、地域経済分析システム(RESAS)、屋外観察調査、模型制作等を通じて、地域の現状分析と問題抽出に取り組みます。買い物弱者問題や観光振興、中心市街地活性化等の具体的な問題に対して実際にデータを分析し、現行法制度を踏まえた解決策を自ら考えることにより、持続可能な都市をデザインする実践力を養います。



第III群 メディア学基礎B(専門教育科目)

【メディア学部メディア学科 勝野 正博 教授】

新聞・出版、ラジオ・テレビ、インターネット、広告、アニメ・映画といったメディア産業の構造や課題を学びながら、推しエコノミー、eスポーツ、メタバースといった新たなメディアの可能性を探究する講義です。持続可能なメディア環境や多様な文化発信のあり方について考察するとともに、メディアをめぐる分野横断的な連携や共創の視点を養い、社会課題の解決に向けた実践的な知見を深めていきます。

